

# Market Report

2023年9月号



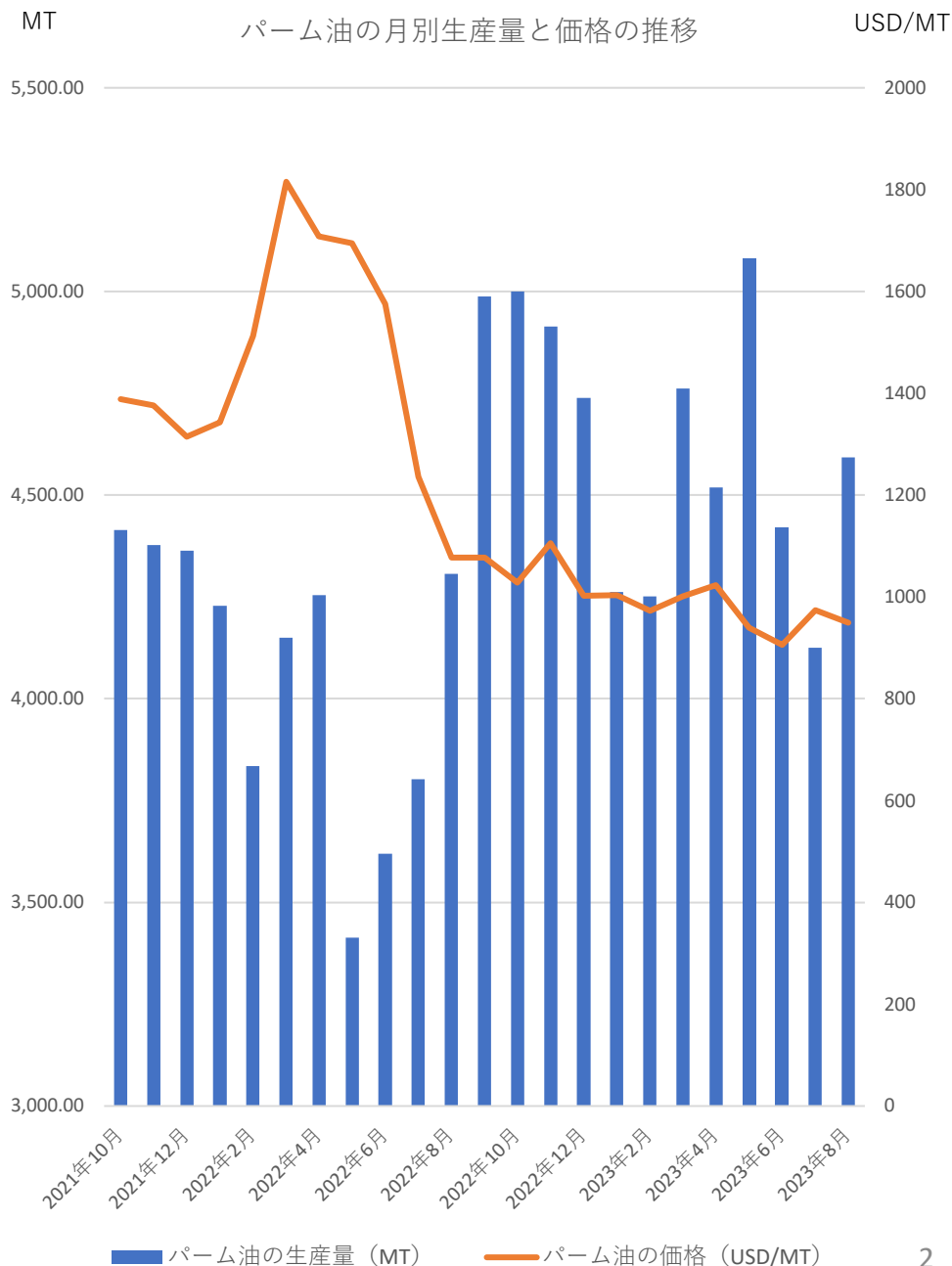
# インドネシアのパーム油生産量及び価格見通し

## 1. 実績

2023年8月のFFB価格は、全てのFFB生産州で2023年7月のFFB価格より高かった。西スマトラ州の10～20年平均のFFB最高価格は2,489.59 Rp/kgであり、西パプア州の最低価格は1,787.38 Rp/kgであった。一方、CPO価格の最高値はリアウ州で11,004.44 Rp/kg、最安値は西スラウェシ州で10,216.70 Rp/Kgを記録した。

## 2. 見通し

2023年9月のFFBとCPO生産量はインドネシアの干ばつ状況により激減すると予想される。乾季の症状やエルニーニョが国内のパーム油生産、特に小農が所有するアブラヤシプランテーションに大きな影響を与えることは明らかである。干ばつがアブラヤシ植物に与える影響には、降雨量、水不足、乾期、雨の降らない継続日数などのパラメータがあり、植物の生育、花果の発育、果房の生産性が阻害され収量が低下する可能性があるため、アブラヤシにとって深刻な問題となる。



# インドネシアからのPKSの輸出量及び輸出額見通し

## 1. 実績

2023年7月のインドネシアのPKS輸出量は492,932.99トンで、435,283.30トンと記録された6月の輸出と比較すると57,649.69トン、13.24%の増加であり、また、2023年7月のPKS輸出額は59,815,813.28 USDを記録した。最大の輸出先は日本であり、輸出量は438,983.89トン、外貨換算額は53,402,252.21 USDを記録した。

## 2. 見通し

パームヤシの収穫量が減少に転じる可能性があり、パーム油の生産量の減少も考えられる。PKSの価格は下げ止まりか。

